

# 行政報告

## 東日本大震災への対応状況

11月28日現在の本市への避難者は、20世帯51人で、9月定例会での報告より8世帯14人減少しています。避難者には、希望者への新米提供のあつせん、県のきりたんぼづくり体験事業への協力のほか、無料の乳幼児健診や予防接種を実施しました。

本市の災害用物資の備蓄については、各公民館へ発電機、毛布、対流式石油ストーブ、非常食、防災行政無線などの配備が完了しました。今後も、計画的に備蓄物資の種類と数量を増やしていくとともに、災害に迅速に対応するため、発電機や防災行政無線などの定期的な操作訓練を実施します。

今回の震災で、ライフラインの早期確保、復旧には民間企業の協力が極めて重要であるとの教訓から、10月24日に北鹿電気工業業協同組合と「災害時における電気設備等復旧応援に関する協定」を締結しました。

また、大館鳳鳴高校の甲子園出場の際、震災後間もなく、応援団の派遣も

市議会12月定例会が11月29日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

難しい状況の中、兵庫県の篠山鳳鳴高校が友情応援に駆け付けてくれたことを契機に、篠山市との友好を深める機運が高まり、関西圏の都市とは初となる防災協定締結を予定しています。

## 敬老事業

高齢者の長寿と健康をお祝いするため、9月3日から28日まで、市内16会場で敬老会を開催し、3127人がご参加いただきました。敬老会の参加率は減少傾向にありますが、婦人会や町内会の皆様が高齢者の元気な姿に直接触れることのできる貴重な機会であり、敬老会を実施できることは、地域社会の繋がりが保たれている証でもあることから、今後



金婚式

も様々な工夫をしながら継続したいと考えています。

また、11月22日には合同金婚式を開催し、結婚50年

という長い歳月を共に歩んでこられた、32組の夫婦にご出席いただきました。これまでのご労苦や地域へのご貢献に敬意を表するとともに、今後のご健勝を祈念し、祝宴等で楽しいひと時をお過ごしいただきました。

## 農業者戸別所得補償制度における交付金の申請状況

23年4月から畑作物にも対象が拡大した農業者戸別所得補償制度は「畑作物の所得補償交付金」、「水田活用の所得補償交付金」、「米の所得補償交付金」、「米価変動補てん交付金」に各種加算措置を加えた内容で、4月1日から6月30日までの期間で、2011件の加入・交付申請がありました。

この申請に基づき、米の所得補償交付金で4億4243万円、水田活用の所得補償交付金で3億5043万円、合わせて7億9286万円の交付金となりました。米価変動補てん交付金については、本年産米の販売価格が確定後の、24年5月から6月頃に支払われる予定です。

## 秋まつり行事等

### ①第39回本場大館きりたんぼまつり

10月8日、9日に開催したきりたんぼまつりは、両日とも好天に恵まれ、多彩なきりたんぼ鍋やたんぼ千本焼きに長蛇の列ができるなど、延べ1万3千人の来場者でにぎわいました。



たんぼ千本焼き

### ②五色湖まつり

今年20回目となる五色湖まつりは、10月9日に山瀬ダム多目的広場で開催し、大鰐町との交流事業やマラソン大会のほか、ダム地下トンネルの見学などに2千400人が来場しました。

### ③第14回大館圏域産業祭

10月29日、30日に樹海ドームで産業祭が行われ、商工展や農業展のほか、産業教育展では「秋田県高等学校工業クラブロボット競技大会」が行われ、5万2千人の来場者でにぎわいました。

### ④きりたんぼまつり in 渋谷

11月5日、6日、渋谷区代々木公園で開催しました。本場大館の味は大人気で、2日間で1250食のきりたんぼ鍋が完売し、山の芋の売れ行きも好調でした。

### ⑤首都圏ふるさと会

11月13日に「ふるさと比内会」、19日に「首都圏大館ふるさと会」、20日に「東京田代会」が開催され、市の近況報告や情報交換を行い、今後も各方面からふるさと大館を応援していただくことを再確認してきました。